

2026年5月13日

会社名 宮越ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 宮越 邦正
(コード番号 6620 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 高木 昭彦
(TEL: 03-3298-7111)

新成長戦略「MIYAKOSHI Vision 2030 ～飛躍に向けた新たな基盤作り～」策定のお知らせ

当社グループは、2035年度に掲げる長期ビジョン「時価総額1兆円企業の実現」に向けたマイルストーンとして、今後5年間の重点施策と財務目標を定めた中長期成長戦略「MIYAKOSHI Vision 2030 ～飛躍に向けた新たな基盤作り～」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 中長期成長戦略策定の背景～中国・深圳を起点とした圧倒的優位性～

当社は1977年の中国進出以来、半世紀にわたり現地政府および有力企業と強固な信頼関係を築いてまいりました。現在、世界最大のイノベーション拠点へと変貌を遂げた深圳エリア（粵港澳大湾区）において、当社が推進する大型開発プロジェクトであるワールド・イノベーション・センター（WIC）プロジェクトは、単なる不動産開発を超え、次世代産業のプラットフォームとして、将来の企業価値を飛躍させる最重要基盤となります。

2. 「MIYAKOSHI Vision 2030 ～飛躍に向けた新たな基盤作り～」の柱～二大事業の加速～

本戦略では、2030年度までの5年間を「飛躍に向けた新たな基盤作り」の期間と位置づけ、以下の二大事業を推進します。

① WIC（ワールド・イノベーション・センター）事業～世界をリードする産業プラットフォーム～

- 2026年4月時点で、既に100社超から入居意向表明を取得。特筆すべきは、その74%が売上高1,000億円を超える優良大企業であり、グランドオープンに向けた需要は極めて旺盛です。
- 2029年までに入居意向表明取得200社超を目指し、2030年のグランドオープン後、速やかに営業利益100億円規模の安定収益基盤を確立します。

② イノベーション事業～非連続な成長を実現する投資戦略～

- ロボティクス、半導体、AIソリューション、モビリティ関連、ライフサイエンスを重点領域とし、100億円～150億円規模の投資予算を考えています。
- 中国14省4直轄都市との連携プラットフォームを最大限に活用。日中両国のハイテク企業や大手半導体商社とのアライアンス、機動的なM&Aにより、商社機能と技術機能を融合させた高成長モデルを構築します。

3. 2030年度財務指標（目標）

本戦略の完遂により、2030年度において以下の財務指標の達成を目指します。

	2030年度
時価総額	3,000億円
営業利益	200億円
WIC事業	100億円
イノベーション事業	100億円

4. 企業価値の持続的な向上に向けて

当社は、「未来産業の挑戦を支え、世界に新たな価値を届ける」という企業理念に則り、本戦略の着実な遂行を通じて、持続的な企業価値の向上と社会への貢献に邁進してまいります。プロジェクトの進捗については、重要マイルストーンの達成状況を適時適切に発信し、ステークホルダーの皆様のご期待に確実に応えてまいります所存です。

中長期成長戦略「MIYAKOSHI Vision 2030」の詳細については、添付資料「MIYAKOSHI Vision 2030 ～飛躍に向けた新たな基盤作り～」をご覧ください。

以上



MIYAKOSHI

MIYAKOSHI Vision 2030

～飛躍に向けた新たな基盤作り～

FY2026 – FY2030

中長期成長戦略説明資料

宮越ホールディングス株式会社





MIYAKOSHI

当社の歴史

- ✓ 1977年、日中国交正常化後の黎明期に中国政府からの要請を受け、国家プロジェクトに参画。
- ✓ 以降、中国市場に関わり、安定した関係を構築し、知見及び実績を積み上げる。

1966年5月	● 創業	宮越邦正 25歳で東邦電器製作所を創業、電子部品の製造を開始
1977年10月	● 中国市場進出	中国政府から教育用テープレコーダーの製造技術指導の要請を受け、上海無線電第二工場と合作事業を開始 本事業が日中国交正常化後、最初の中国進出日本企業として注目される
1983年8月	● 経営権取得	音響機器メーカークラウンの経営権をダイエーから取得
1984年7月	● 経営権取得	冷凍機器メーカー田尻機械工業の経営権を東芝から取得
1987年12月	● 経営権取得	中東で水力発電事業を営むトレルインベストメントの経営権を取得
1987年12月	● 土地取得	深圳経済特別区に工場用地を取得、深圳皇冠（中国）電子有限公司を設立し、音響・映像機器の現地生産を開始
2011年10月	● 上場	宮越商事の株式移転により、宮越ホールディングスを設立、東京証券取引所市場第一部に上場する
2022年4月	● 市場区分見直し	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、「プライム市場」へ移行
2025年8月	● WIC開発許可取得	ワールド・イノベーション・センター（WIC）プロジェクトの開発許可取得

総合投資企業へ



「未来産業の挑戦を支え、 世界に新たな価値を届ける」

宮越ホールディングスは、人・技術・資本を結びつけ、持続可能で
公正な社会の実現に貢献する総合投資会社です。
誠実で透明な事業運営を基盤に、未来を担う産業と人材が挑戦できる
舞台を創り、社会に新たな価値を提供します。



MIYAKOSHI

MIYAKOSHI Vision 2030の位置づけ

未来産業の挑戦を支え、
世界へ新たな価値が広がる舞台を創る

MIYAKOSHI Vision 2040

MIYAKOSHI Vision 2035

～時価総額1兆円企業の実現～

基盤作りから得られた種の育成 価値提供を通じて新たな企業へ

MIYAKOSHI Vision 2030

～飛躍に向けた新たな基盤作り～

「ワールド・イノベーション・センター（WIC）」プロジェクトの推進とイノベーション事業の強化に向けたM&A・アライアンスを含む施策を積極的に検討・実行し、事業ポートフォリオの進化を図る



MIYAKOSHI

長期成長シナリオ

- ✓ FY2035に時価総額1兆円を目指す。
- ✓ 「MIYAKOSHI Vision 2030」で成長基盤を確立し、FY2030に時価総額3,000億円を実現する。





FY2030に目指す姿

長期ビジョン

～ 飛躍に向けた新たな基盤作り ～

時価総額

3,000 億円

営業利益

200 億円

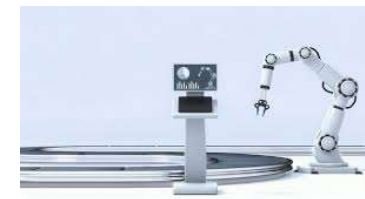
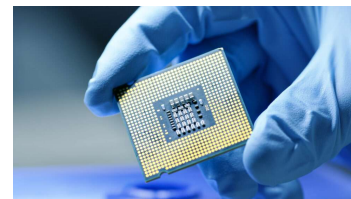
WIC事業

- WICの建設スケジュールの管理とプロジェクト推進強化
 - 主要なマイルストーンや状況を適宜IRにて報告
- 企業誘致活動の強化
 - 入居意向表明取得目標 200社超



イノベーション事業

- 中国ハイテク企業及び大手半導体商社とのアライアンスによるイノベーション事業の早期立ち上げ
- ロボティクス・半導体商社等のM&A取得・アライアンスによる機能の強化（販売・技術等）
- 14省4直轄都市との連携によるビジネス創出





MIYAKOSHI

WIC（ワールド・イノベーション・センター）事業

- ✓ 入居意向表明数200件超をKPIとし、2031年3月期に営業利益100億円を目指す。
- ✓ 人材紹介やその他企業連携等をトータルサポート。

FY2030目標

営業利益

100 億円

賃料収入

人材紹介

- グランドオープン前に全区画成約を目指す。グランドオープン後は段階的な入居進行に伴い、想定賃料収入の60%程度を見込む
- WIC入居企業への人材紹介も対応予定であり、2031年3月期に上記目標達成を目指す

主要KPI

入居意向表明数

200 社超

- WIC立ち上げ早期から安定的な賃料収入を得るために、入居企業の誘致活動を更に強化
- 2026年4月時点で100社超から入居意向表明を取得
- 2029年までに200社超から入居意向表明取得を目指す
- また、プロジェクト状況は、適宜IRで報告実施





MIYAKOSHI

WICプロジェクト

- ✓ 中国・深圳市に2030年グランドオープン予定のワールド・イノベーション・センター（WIC）プロジェクトの概要は、下記の通り。

コンセプト	深圳イノベーションの中心地として、国際競争力ある新技術と次世代事業を創出し、世界をリードする新たなイノベーションを発信すること
所在地	深圳市福田区 (深圳市地下鉄ハブになる「車公廟駅」から約300メートル)
敷地面積	21,991㎡
延床面積	452,930㎡ 【内訳】 産業研究開発用建屋: 251,460㎡ 産業附属建物: 90,700㎡ (住宅78,700㎡、商業サービス施設12,000㎡) 地下駐車場等: 110,770㎡
建設費用 (予定)	約45億人民元
雇用創出 (想定)	18,000人
開発主体	深圳皇冠 (中国) 電子有限公司



ワールド・イノベーション・センター（WIC）プロジェクト
プロモーション動画はこちら（2026年4月27日プレスリリース）

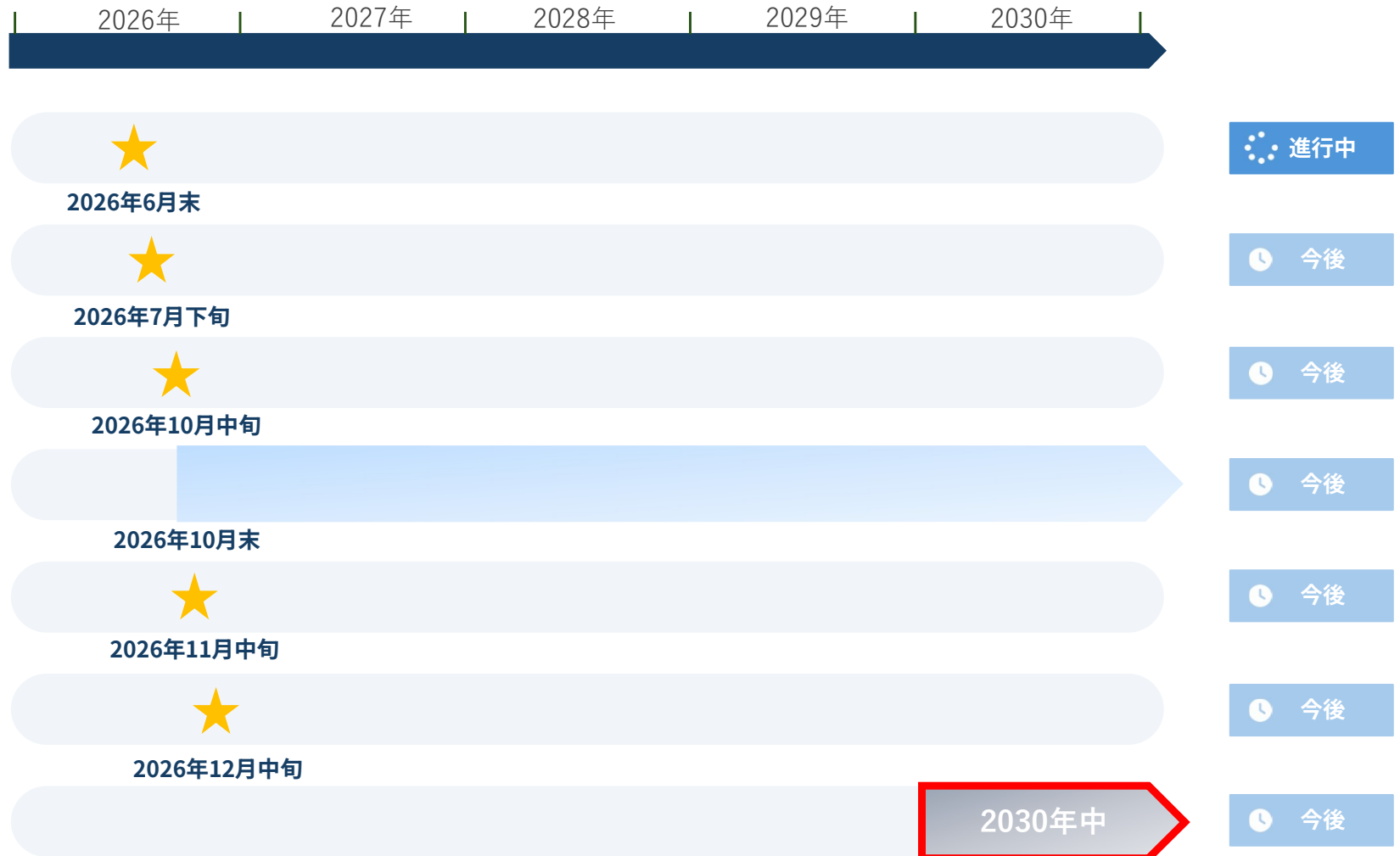




MIYAKOSHI

プロジェクトスケジュール

- ✓ プロジェクトの主要マイルストーンは、下記の通り。
- ✓ 2026年10月末から着工開始（予定）し、2030年のグランドオープンを目指す。



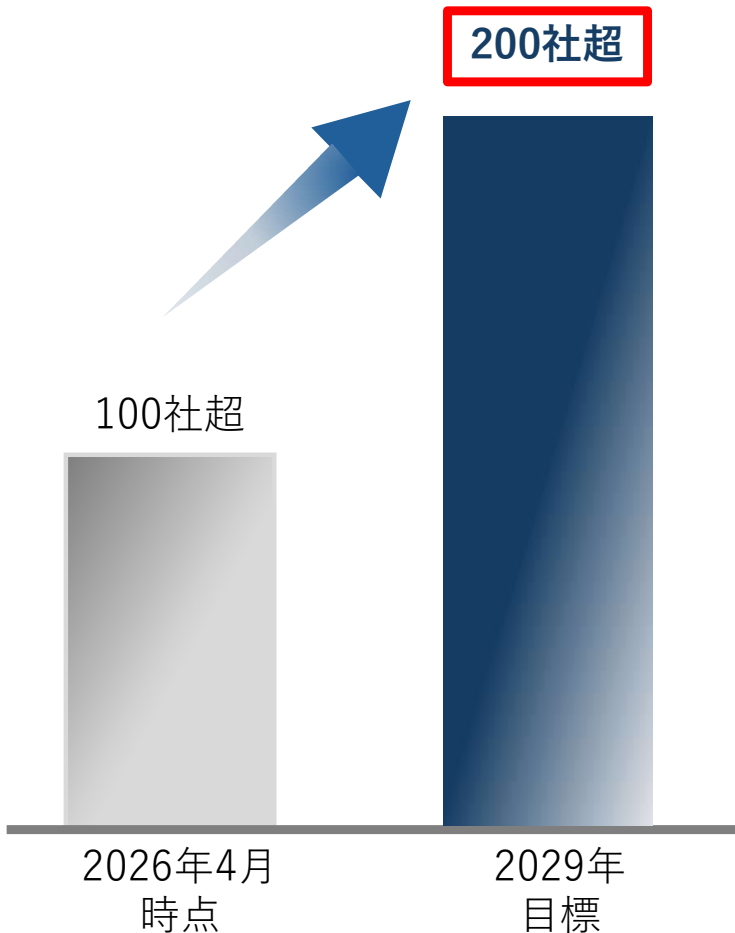


MIYAKOSHI

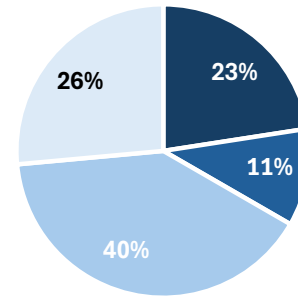
入居意向表明状況

- ✓ 入居意向表明状況は、2026年4月時点で100社を超えており、2029年までに200社以上からの取得を目指す。
- ✓ 入居意向表明企業は、売上高1,000億円超が74%を占める。

入居意向表明の状況

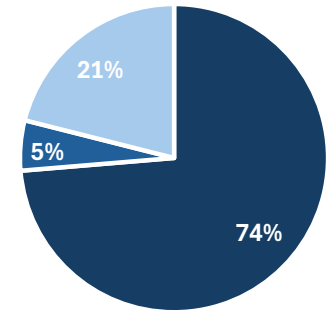


売上高規模



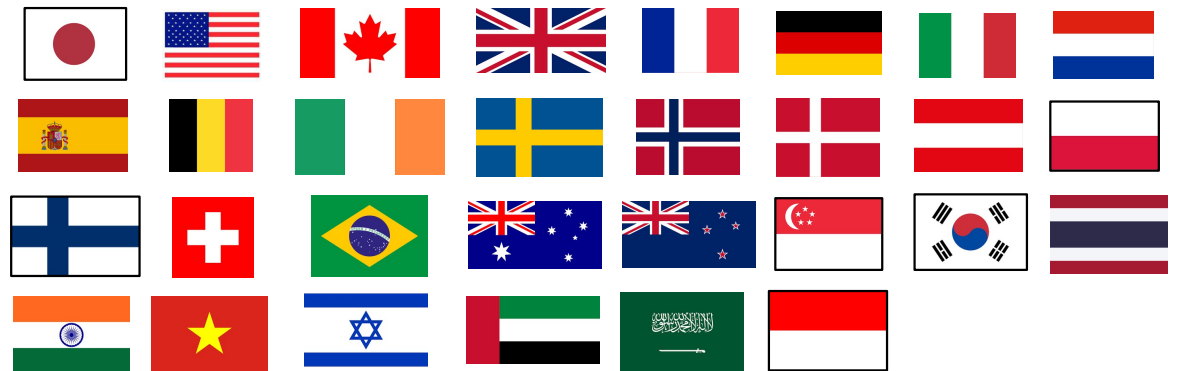
- 1兆円超
- 5,000億円以上～1兆円未満
- 1,000億円以上～5,000億円未満
- 1,000億円未満

上場区分（日系企業のみ）



- プライム
- スタンダード
- 非上場

世界30ヵ国から200社超が入居予定





MIYAKOSHI

イノベーション事業

- ✓ 14省4直轄都市のプラットフォームを活用し、中国、日本、そして将来的には世界各国の市場ニーズを踏まえたマッチングビジネスを展開。
- ✓ 中国ハイテク企業及び大手半導体商社とのアライアンスに関する交渉が進行中。

FY2030目標

営業利益

100 億円

商社機能

- 中国ハイテク企業及び大手半導体商社とのアライアンス、ロボティクス商社等のM&A取得・アライアンスを通して、2031年3月期に上記目標達成を目指す

事業戦略

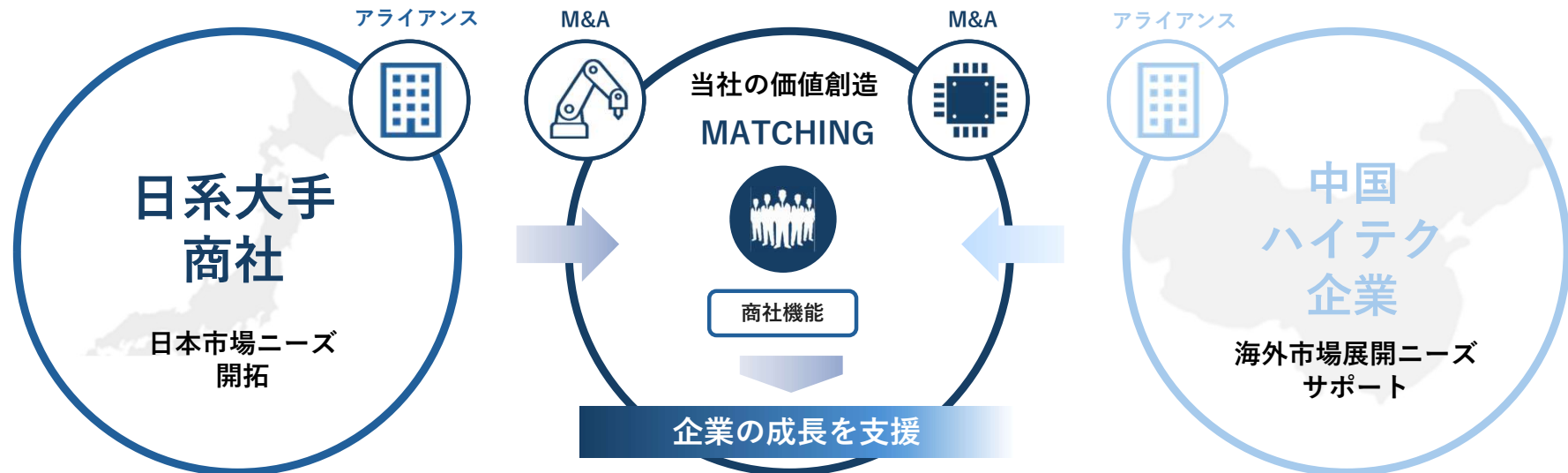
14省4直轄都市のプラットフォームを活用した
マッチングビジネス

大手半導体商社
とのアライアンス

- 中国のハイテク企業製品の日本国内における輸入をサポート
- 当社の中国市場におけるプレゼンスと情報網を活用
- 現在、協業に向けた交渉が進行中

積極的な総合投資
戦略の推進

- ロボティクス・半導体商社等のM&A・アライアンスによる機能の強化（販売・技術等）





総合投資会社としてのイノベーション事業成長戦略

- ✓ FY2026に半導体で基盤を築き、その後ロボティクス、将来的にフィジカルAI、モビリティ、ライフサイエンス等の領域へ段階的に拡大予定。
- ✓ 二軸の投資モデルを組み合わせた投資構造で非連続な成長を実現する。

方針・考え方

投資予算：100億円～150億円

経営権
掌握型
(M&A)

非上場
商社

非上場商社へのM&Aによる取得

非上場商社の経営権と事業資産を一体で取得し、当社主導で事業成長可能な基盤を確実に構築

半導体
商社

大手半導体商社との業務提携

大手半導体商社の商流・技術を活用し、早期に事業を立ち上げ

大手半導体商社とのJV設立

当社・半導体商社双方の強みを統合し、新規事業を継続的に創出

その他

複数社との業務提携（当社×商社×事業会社）

事業会社を巻き込み、実証から横展開まで事業のスケールを加速

共創型
(アライアンス・
JV)



M&A戦略 ～スコープ（イメージ）～

✓ 具体的なターゲットは、下記の通り。

領域	目的	エリア	投資予算	備考
ロボティクス・半導体 技術商社	販売チャネル獲得 技術機能獲得	主要都市	～50億円	-
AIソリューション	半導体・ロボットの実装力補完 データ基盤獲得			ベンチャーキャピタル へのLP出資も検討
モビリティ関連	運用ノウハウ獲得 現場アクセス獲得			ベンチャーキャピタル へのLP出資も検討
ライフサイエンス	医療ソリューション獲得 ヘルスケア実装機能獲得			ベンチャーキャピタル へのLP出資も検討



ご留意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

<本資料に関する問い合わせ先>

常務執行役員 高木 昭彦

TEL 03-3298-7111 (代表)



MIYAKOSHI